

第34回 花の国づくり共励会
花き技術・経営コンクール
受賞者の業績概要

令和7年2月

一般財団法人日本花普及センター

第34回花の国づくり共励会 花き技術・経営コンクール 受賞者一覧表

【農林水産大臣賞】

佐藤 勲 (さとう いさお)
苗物 (パンジー・ビオラ、カリブラコア、ニチニチソウ)
群馬県高崎市

杉本 佑貴 (すぎもと ゆうき)
杉本 かおり (すぎもと かおり)
鉢物 (観葉植物)、切葉
福岡県みやま市

【農林水産省農産局長賞】

新岩手農業協同組合南部地域花卉生産部会
切花 (リンドウ・ユリ等)
岩手県雫石町、滝沢市

あいち海部農業協同組合 早尾紅蓮組合
切花 (花ハス)
愛知県愛西市

栗林 健一 (くりばやし けんいち)
栗林 亜紀子 (くりばやし あきこ)
切花 (トルコキキョウ、ストック、アスター等)
長崎県雲仙市

上江洲 実 (うえず みのもる)
切花 (キク)
沖縄県島尻郡久米島町

第34回花の国づくり共励会（令和6年度）花き技術・経営コンクール

第34回花の国づくり共励会花き技術・経営コンクール受賞者の皆様方には心からお祝いを申し上げます。花き技術・経営コンクールは、花の国づくり都道府県協議会などより推薦がありました経営体について、5名の審査委員により、提出された書類ならびに県などへの聞き取りおよび現地調査に基づき厳正に行われました。その結果、本共励会の最高賞である農林水産大臣賞には、次の2経営体が選ばれました。

群馬県高崎市の佐藤勲氏は、花壇苗生産経営を営んでいます。佐藤氏は大学を卒業後、米国のプラグ苗生産会社で2年間の研修を受けた後、昭和63年に親元である葉物野菜生産農家に就農しました。それを契機に、それまでの生産作目を花壇苗へと全面的に転換し、同時に佐藤園芸を立ち上げました。現在は、パンジーを中心とした花壇苗を年間60万鉢生産しています。

栽培面では、パンジーの育種に積極的に取り組み、平成28年に初めてのオリジナル品種“ドラキュラ”を育成しました。その後も、他に類を見ない花色や花型を有したパンジーやビオラを15品種育成しました。現在、パンジーやビオラにおいては、オーソドックスなプラグ苗を用いた花壇苗生産ですが、全てをオリジナル品種で作付けしているところに大きな特徴があります。また、根鉢の上層から下層まで満遍なく根を張らせることのできる灌水技術の確立と適切な鉢広げにより品質向上を図るとともに、計画的な生産管理による鑑賞適期の出荷に努めています。出荷・販売面では、オリジナル品種の魅力をさらに高めるために、ネーミングとラベルデザインの制作を委託することで、豪華で贅沢な商品イメージを付与し、高単価での販売につなげています。また、オリジナル品種の海外販売を計画しており、米国での試作品の市場調査結果から種子生産を拡大することにしました。雇用管理面では、土詰め機の導入による作業の機械化などによる労働軽減や、午前中のみ勤務や土日休みなどワーク・ライフ・バランスを重視した柔軟な働き方の導入などで、女性従業員の活躍と定着を促進しています。また、圃場内トイレの設置や空調服の支給など、作業環境の改善にも努めています。地域活動面では、長年にわたり農業経営士や農業委員として、若手就農者の視察研修の受け入れや、障がい者施設や病院等に花壇苗の無償提供を行うなどで、地域に貢献しています。

このように、花き苗物生産において、創意工夫により安定した生産経営を維持していること、雇用や環境に配慮した生産を実施していること、過去3年間において出荷数量、経営収支とも安定していること、地域の花き生産振興に寄与していることなどが高く評価され、農林水産大臣賞に相応しい花き生産の模範となる経営体であると判断されました。

福岡県みやま市の杉本佑貴・かおりご夫妻は観葉植物鉢物生産経営を営んでいます。佑貴氏は平成15年に実家のラン・切り葉生産農家である杉本神籠園に就農しました。就農当時から観葉植物の鉢物生産を目指していたことから、平成17年からの国内観葉植物生産農家での2年間研修で生産技術と販売管理を学んだ後、平成19年に杉本神籠園を経営継承しました。同年、かおり氏は結婚を機に就農し、販売と労働管理を主に担当しました。当時の杉本神籠園の主力品目であった“エメラルドウェーブ”切り葉に加え、新たな需要を生み出すために鉢物生産を始め、現在では、年間約16,000鉢の“エメラルドウェーブ”鉢物が、

杉本神籠園の主力品目となっています。

栽培・生産面では、海外でメリクロン苗の生産を行う一方で、奄美大島での原木生産および苗生産により苗の安定供給体制を確立したことで、実需者の信頼を獲得しています。出荷・販売面では、出荷物の品目・品種特性、サイズ、仕立て方、鉢のこだわりなどの特徴を示した企画書の作成などで、品質信頼や出荷物の知名度が向上することにより、出荷量及び単価の向上が実現しました。また、消費者動向や実需者のニーズ把握に合わせた商品アイテムを増やすなどで販売促進に取り組んでいます。労働・雇用管理面では、台車が入る低コスト耐候性ハウスを導入したことで、生産と商品調整作業に加え出荷・搬入などの作業動線がつながり、飛躍的な労働軽減が可能になるとともに自動環境制御装置による生産性の向上も実現されました。さらに、従業員に対する人事評価制度と対応した給与体系の構築からの労働意欲の向上に取り組んでいます。地域活動においては、地元の福祉事業所に除草作業や土詰め、出荷ラベルの作成などを通年委託することで、農福連携の継続的な取り組みを行っています。

このように、観葉植物生産経営において安定した生産・販売を維持していること、雇用や環境に配慮した生産を実施していること、過去3年間において出荷数量、経営収支がとも安定していること、地域の花き生産振興に寄与していることなどが高く評価され、農林水産大臣賞に相応しい花き生産の模範となる経営体であると判断されました。

農林水産省農産局長賞に選ばれました次の4経営体は、農林水産大臣賞に選ばれました経営体に収益性、あるいは、経営の安定性の上で僅かに及ばないものの、以下に述べる点で高く評価されました。

岩手県雫石町および滝沢市で活動する新岩手農業協同組合南部地域花卉生産部会は、昭和51年に設立された当時の雫石町農業協同組合「花き部会」を母体として、組織再編統合後の令和5年に設立された組織で52戸からなっています。主力のリンドウを中心とした露地花き品目とユリなどの施設花き品目を組み合わせた周年出荷産地として、担い手の育成・確保、新し栽培技術や鮮度保持技術の導入などで、切り花の生産・供給、出荷・販売の促進等に努めています。

生産活動としては、リンドウの低コスト施肥やリンドウ・ユリ・小ギクの鮮度保持技術など新技術の実証と早期普及、リンドウ高温障害対策、出荷本数の予測に基づいた計画的な改植などを実施することで、生産性の向上に繋げています。出荷・販売面では、SNSグループを活用した情報共有体制の構築、バケット出荷の取組推進などによる有利販売への取組や、フラワーアレンジ教室の開催、ドライフラワーの製作・販売などによる新たな販路拡大に取り組んでいます。労働・雇用面においては、機械化を念頭においた作業受託体制の構築による労力軽減や農業体験受け入れに作業労力の確保を推進しています。

このように、リンドウを中心とした切り花生産に安定した経営を実現し、地域の花き生産振興に寄与していることが評価されました。

愛知県愛西市のあいち海部農業協同組合の早尾紅蓮組合は、昭和50年に30戸から設立された組織ですが、新盆と旧盆の供花に欠かせない花ハス（蓮花、蓮台、葉）を出荷する共選共販組織として現在では10戸で活動しています。

生産活動としては、系統選抜を継続的に行うことで、良質な形質の維持に努力しています。また、需要期にあわせて開花盛期が得られるように、新規組合員に対しては栽培歴の作成と栽培指導によるフォロー体制を構築しています。害虫防除では、ドローン散布により労力と散布ムラ軽減を図っています。出荷・販売面では、選花基準の数値化表の作成と可視化による客観的な判断、選花台の開発導入などによる効率的な選花、湿式輸送と品質保持剤の導入などで花品質の均一化と高品質化、さらに、出荷情報の早期伝達による予対比率の向上で高値の安定化などを実現しました。労働・雇用面においては、雇用者が収穫から選花までの作業ができるシステムの構築や JA の協力による営農ボランティアの継続的な確保が実施されています。

このように、花ハス生産に安定した経営を実現し、地域の花き生産振興に寄与していることが評価されました。

長崎県雲仙市の栗林健一・亜紀子ご夫妻は、トルコギキョウ、ストックなどの切り花生産を営んでいます。健一氏は高校卒業後、平成11年に実家である花き農家に就農した後は花き栽培面積を拡大し、現在では、トルコギキョウ50a、ストック40a等の生産のほか贈答用のメロンを生産し、県内でも大規模な生産者となっています。

栽培面では、自家育苗による良質苗の生産と、温度管理等の環境制御技術の導入、施肥管理の工夫などで、計画的な出荷率の向上と切り花の高品質化に繋げ、トルコギキョウでは販売量の8割を契約販売するなどの有利販売に繋げています。出荷・販売面では、商談会や展示会等を通してPRを行うとともに実需者のニーズをとらえることで新品目や新品種の導入の検討材料とし、試作による特性把握や市場評価の実施などで導入リスクの低減を図っています。また、新たな販路として、アメリカや台湾など海外へトルコギキョウの輸出をしています。次世代担い手の育成については、農業大学校や農業高校からの研修受け入れや新規就農者へ対する技術指導などで貢献しています。

このように、トルコギキョウ、ストックなどの切り花生産に安定した経営を実現し、地域の花き生産振興に寄与していることが評価されました。

沖縄県島尻郡久米島町の上江洲実氏は、輪ギクの切り花生産経営を営んでいます。高校卒業後に9年間務めた消防職員を退職して野菜栽培に従事した後、平成2年から花き生産を開始し、高品質な輪ギク切り花の計画生産・計画出荷に取り組んでいます。

栽培面では、平張施設を積極的に導入することによる台風被害の軽減や、LED電球と小型発電機による停電対策、冬春期の収穫作型に特化した栽培などで高品質花きの生産を図っています。出荷・販売面では、久米島町の事業によるリーファーコンテナの導入と鮮度保持資材の利用で、花き品質の維持が可能になりました。労働面においては、自動選別ロボットの導入で、選別・結束作業の省力化・効率化が図られ、冬春期の収穫作型に特化したことで、畑づくりや肥培管理の時間を増やすことで、高品質化の生産につながりました。地域活動としては、キクを中心とした産地形成にリーダーシップを発揮することで、平成21年にはキクの拠点産地としての認定を受けました。

このように、輪ギク切り花生産に安定した経営を実現し、地域の花き生産振興に寄与していることが評価されました。

令和6年は、この数年間にみられる温暖化現象の進行による異常気象、特に高温による影響で、花きに限らず多くの作物で生育不良や出荷への影響が懸念されました。そのような中で、今年度の審査会において推薦のあった多くの経営体が、栽培技術の高度化により生産効率を高めると共に、労働力の削減、生産コストや環境負荷の低減に努める一方、消費者ニーズに合う品目・品種の選択、オリジナル品種の育成、輸出も見据えた新しい需要の開拓に力を注ぎ、着実な経営に腐心されていることに心強く感じました。今後とも、花き産業の健全な発展と心豊かな国民生活の実現に向けて、なお一層のご尽力を賜りますようお願いし、審査講評といたします。

令和7年2月4日

審査委員長

腰 岡 政 二

【農林水産大臣賞】

佐藤 勲（さとう いさお）群馬県高崎市

苗物（パンジー・ビオラ、カリブラコア、ニチニチソウ）

佐藤勲氏は、高崎市で、葉物野菜を生産する農家の長男として育ち、大学を卒業後に農業研修生として米国のプラグ苗生産会社で2年の研修を受けた後、昭和63年に親元である葉物野菜生産農家に就農した。それを契機に、それまでの生産品目を花壇苗へ全面的に転換し、同時にサトウ園芸を立ち上げた。現在は、パンジーを中心とした花壇苗を年間60万鉢生産している。

栽培面では、パンジー・ビオラのオリジナル品種の育成に積極的に取り組み、平成28年にパンジーのオリジナル品種「ドラキュラ」を育成した。その後も、他に類を見ない花色や花型の品種を作出し続け、パンジー・ビオラを15品種育成した。現在、パンジー・ビオラにおいては100%オリジナル品種を作付けし、飛躍的に収益向上をしている。また、綺麗に咲き続ける花苗を作るためには、灌水管理が重要だと考え、根鉢の上層から下層まで満遍なく根を張らせることのできる灌水技術の確率と適切なタイミングでのスペーシング（鉢広げ）により、徒長伸長を抑制し品質向上を図るとともに、計画的な生産管理による鑑賞適期の出荷に努めている。

出荷・販売面では、オリジナル品種の魅力をさらに高めるために、ネーミングとラベルデザイン制作を委託することで、豪華で贅沢な商品イメージを付加し、高単価での販売につなげている。また、県内大手の園芸店や高品質生産に取り組む県内生産者と連携し、品質の高い商品を園芸店へ直接販売する出荷団体を結成、全国約200店舗の園芸店に配送するシステムを構築した。サトウ園芸では、毎年冬にリピート購入する消費者（ファン）を招いて「パンジー・ビオラ見学会」を開催している。現在では、全国から150名以上が参加するイベントへと成長し、SNS等を通じて商品を紹介、品種の魅力を拡散している。ファンからの声を重視したマーケティングと意見収集をもとに新品种を作り上げる販売戦略が、次の人気品種の育成につながっている。また、オリジナル品種の海外販売を計画しており、米国での試作品市場調査結果から、種子生産を拡大することにした。

雇用管理面では、土詰め機の導入による作業の機械化などで、労働軽減や午前中だけの勤務や土日休みなど、ワーク・ライフ・バランスを重視した柔軟な働き方を可能にし、女性従業員の活躍と定着を促進している。また、作業環境の改善としては、圃場内トイレの設置や空調服の支給、圃場内の通路整備を行うなど作業環境の改善にも努めている。

地域社会活動面では、長年にわたり農業経営士や農業委員として若手就農の視察研修の受け入れなど、地域農業の発展に尽力している、さらに、地域のイベントにも積極的に参加し、農業以外の分野の人達との交流を深め、障害者施設や病院等に花苗の無償提供を行うなど地域活動に貢献している。



佐藤 勲氏



ハウス外観



新品種、パンジー ローブ・ドゥ・アントワネット
「ウェディングドレス」



ハウス内 パンジー・ビオラ栽培風景



パステル調で優しい色合いのパンジー
エレガントでドレス風のフリルが特徴の
「ローブ・ドゥ・アントワネット」

【農林水産大臣賞】

杉本 佑貴（すぎもと ゆうき）杉本 かおり（すぎもと かおり）福岡県みやま市
鉢物（観葉植物）、切葉

杉本佑貴氏は、平成15年に曾祖父の代から花き生産を行っている杉本神籠園に就農した。就農当時から、需要の移り変わりをとらえ、観葉植物を中心とした鉢物生産を目指していたことから、平成17年から愛知県の観葉植物生産農家で2年間の研修を行い、観葉植物の先進的な生産技術と販売管理を学び、研修終了後の平成19年に杉本神籠園を経営継承した。同年にかおり氏は、結婚を機に就農し、これまでの経験を生かしたポップやラベルの制作、生産、出荷調整、経理、労働管理などを主に担当した。佑貴氏が行っていた市場との交渉などにも同行して経験を積み、平成28年からは、営業業務全般も担っている。

佑貴が、海外に直接仕入れに出向き、品目数を増加させ、主力のエメラルドウェーブ（切り葉）とサラセニア、ゴムノキ等年間100品目以上の観葉植物を栽培している。エメラルドウェーブの切り葉に加え、新たな需要を生み出すために鉢物生産を始め、現在では、年間約16,000鉢のエメラルドウェーブ鉢物が主力商品となっている。

栽培・生産面では、苗の大半を海外からメリクロン苗で輸送しており、新設ハウスに効率よく温度管理ができる養生室を設置したことで順化・発根がスムーズに行えるようになった。これらの技術により、生産性と収益性の向上が実現した。また、奄美大島での原木生産および苗の生産に取り組み、輸入苗の一部を国内生産に切り替えることができた為、苗の安定供給が実現した。

出荷・販売面では、出荷物の品目・品種特性、サイズ、仕立て方、鉢物のこだわりなどの特徴をわかりやすく示した企画書を提案することで、市場評価の向上と信頼につながっている。常に、消費者ニーズに合わせたサイズ、規格、仕立てなどの見極めに注力し、カタログ制作やパンフレットを添えて梱包するなど、実需者の目線に立った販売販売促進を行っている

雇用・労働管理については、台車輸送可能で効率的な低コスト耐候性ハウス「台車が入るハウス」を令和5年に導入したことで、作業導線が確保され、出荷調整作業など効率的に行えるようになった。ハウス内の自動換気装置、自動カーテン、循環扇の導入により労働負担軽減につながっている。また、子育て世代の従業員が多いことから柔軟な労働時間を設定し、サマータイムなども取り入れている。さらに、従業員に対する人事評価制度と評価に応じた給与体系の構築を行い、さらなる従業員の意欲の向上と快適な就業環境の整備に取り組んでいる。

地域活動については、地元の福祉事業所に除草作業や土詰め、出荷ラベルの製作等を通年委託し、農福連携の継続的な取り組みを行っている。令和2年からは、毎年地元との小中学校の花育活動の為に花材を提供や、社会見学等の受け入れも積極的に行っている。



左から 妻 杉本 かおり氏 右 杉本 佑貴氏



新ハウス外観



下段中央：杉本佑貴氏・かおり氏と
杉本神籠園の従業員の皆さん（お揃いの空調服）



「エメラルドウェーブ」鉢物生産ハウス内



観葉植物生産の様子

【農林水産省農産局長賞】

新岩手農業協同組合南部地域花卉生産部会 岩手県雫石町、滝沢市
切花（リンドウ・ユリ、その他の花き、など）

新岩手農業協同組合南部地域花卉生産部会は、昭和51年に当時の雫石町農業協同組合「花き部会」として設立し、その後、平成9年に「新岩手農業協同組合南部地域花卉生産部会雫石支部」として組織変更、さらに令和5年2月27日に「新岩手農業協同組合南部地域花卉生産部会滝沢支部」との統合を経て設立された組織で、52戸からなっている。

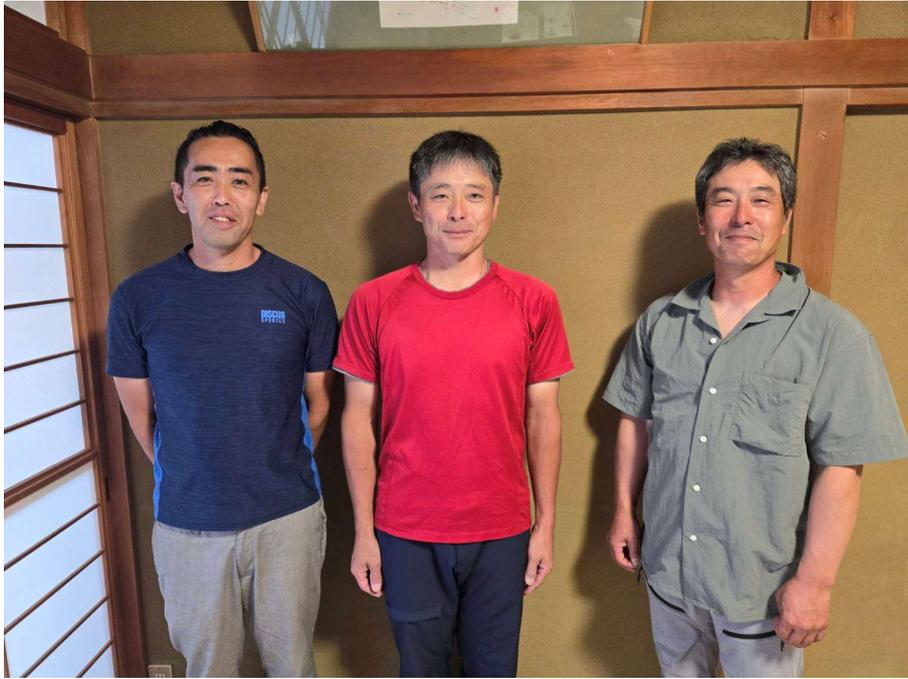
同部会は、主力のリンドウを中心とした露地花き品目と、ユリなど施設花き品目による「花き周年出荷産地」として、岩手県雫石町および滝沢市で活動を行っている。

生産・栽培面では、リンドウの低コスト施肥やリンドウ・ユリ・小菊の鮮度保持技術など新技術の実証を行い、早期普及を図ることで生産性の向上につなげている。また、近年課題となっているリンドウの高温障害への対策技術により出荷量の確保に繋げている。

出荷・販売面では、SNSグループを活用した情報共有体制を立ち上げ、最新の市況や販売情勢などの需要動向を基に、出荷物の規格変更などに迅速に対応することで、販売単価の向上に繋がっている。このSNSグループでは、技術情報の速やかな伝達や、病害虫発生状況の共有などにも役立っている。また、夏季の高温に対応し、鮮度保持と開花調節の為、切花用バケットの利用と予冷庫での低温管理を組み合わせた「バケット出荷」の取り組みを推進し、有利販売への取り組みを行っている。部会の女性や若手生産者を中心とした、フラワーアレンジ教室の開催や、ドライフラワー製作・販売の取り組みを通じて、花の魅力発信や新たな利用機会の提案、販路拡大に取り組んでいる。品質向上や需要ニーズへの対応に関する取り組み成果により、産地ブランド力強化が図られ、部会の花きの平均単価が県平均を上回っており、有益販売が実施できている。

労働や雇用管理面では、新規にリンドウ栽培を始める際の「圃場づくり」には、機械を所有する部会員による作業受託体制を整え、初期投資の抑制と労働力軽減を図ることで、取り組みやすい環境づくり構築している。特に、女性の新規栽培者の確保や栽培面積拡大が図られ、リンドウ生産の拡大と女性生産者の活躍に繋がっている。また、全戸圃場の巡回の実施やSNS等の活用により、互いの栽培管理作業の進捗状況を共有することで生産者同士の協力体制づくりに繋がっている。

環境への配慮については、国庫事業を活用した、バイオスティミュラント資材（栄養を取り込み力を高める）の利用による化学肥料の使用量低減に取り組んでおり、毎年秋に土壌診断を実施し、養分蓄積状況に応じて窒素単肥を使用するなど、適正施肥に向けた取り組みを推進している。



左から 猿子 副会長 茅橋 部会長 右 細川 副会長



りんどうの高温障害対策（畝上部への遮光幕設置）



部会員による「圃場づくり」作業支援（りんどう圃場のマルチ張り）



関係機関・団体と連携した栽培管理指導会



若年層が花に触れる機会の創出（小学生を対象とした花育体験）

【農林水産省農産局長賞】

あいち海部農業協同組合 早尾紅蓮組合 愛知県愛西市
切花 (花ハス)

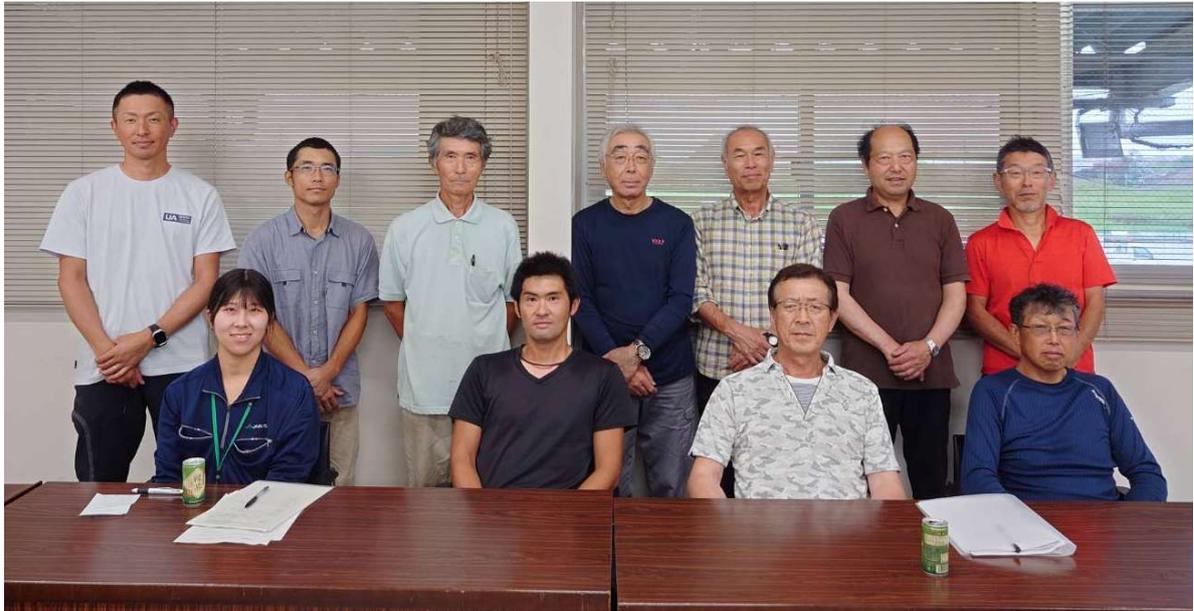
あいち海部農業協同組合 早尾紅蓮組合は、昭和50年に30戸から設立され、花ハス（蓮花、蓮台、葉（開葉、巻葉））を出荷する共選共販組織として、現在は10戸で活動している。愛西市早尾地区は、木曾川の伏流水を活かしたレンコンの産地で、花ハスの生産が始まったのは昭和40年頃からで、昭和44年から始まった米の生産調整により、花ハスの生産者が急増したことから、同組合では、蓮花品質の均一化のため、平成13年から開始した共同選花を令和2年からバラ受け選花に切り替えた。

生産・栽培面については、現在の栽培品種は、「茶碗バス（赤色、八重咲品種）」のみで、花束などに取り入れやすい小型の花が特徴の品種である。系統選抜を継続的に行うことで、優良な形質を持つ茶碗バスを保持している。また、花ハスの需要は、新盆、旧盆前の10日間程度（8月上旬）に限定されることから、需要期に合わせて開花盛期が得られるように、組合では、作付け体系、施肥、病虫害防除等が記載された栽培暦を作成してこれに基づき栽培を行っている。害虫防除については、背負い式の農薬散布器で散布をしていたが、株に傷をつけずに圃場内を歩くことが難しく散布時間もかかるため、平成4年からドローンによる農薬散布実施することで、労力と防除のムラが軽減された。

出荷・販売面では、選花基準の見直しを行い、選花基準表を作成して可視化するとともに選花者を組合員以外の第三者とすることで客観的な選花が効率的に行えるようになった。また、選花台を導入することにより同一等級の花の大きさが揃い、結束した時の見栄えもよくなり、大人数で効率的に作業が行えるようになった。その他、輸送方式を、乾式から湿式輸送を導入し、品質保持剤を選定することにより品質の均一化と高品質化が実現した。

労働や雇用管理面は、労働力を最大限に生かすため、雇用者が収穫から選花までの作業ができるシステムを構築している。また、令和4年からは、JAの協力により、営農ボランティアの募集を開始した。農業に関心のある一般市民に選花、梱包作業などの作業に参加してもらうことで労働不足改善と地域農業への理解促進につながっている、

女性の活躍状況については、組合員の多くは家族経営で、経営に占める女性の役割は大きく、特に、商品の見栄えや販売単価にも影響する結束作業を担当し、従業員への労務管理など多くの女性が組合の運営を支えている。また、組合員の配偶者には、農村生活アドバイザーがおり、県内の女性農業者と情報交換や研修等に参加し、得た情報を花ハス経営の改善に役立てている。



早尾紅蓮組合の皆さん



ほ場の様子 (収穫時)



バラ受け選花の様子



結束された蓮花



湿式輸送に用いられる箱 (左) と
梱包された蓮花 (右)

【農林水産省農産局長賞】

栗林 健一（くりばやし けんいち）栗林 亜紀子（くりばやし あきこ）長崎県雲仙市
切花 （トルコギキョウ、ストック等）

栗林健一氏は、高校を卒業後、平成11年に実家のである花き農家に就農した。就農後は、徐々に草花栽培面積を拡大していき、現在では、トルコギキョウ50a、ストック40a等の生産の他、贈答用のメロンを生産している。

生産・栽培面では、主品目であるトルコギキョウについては、特に工夫をしており、自家育苗により良質な苗の生産と、炭酸ガス施用を活用した環境制御にも取り組んでいる。また、温度管理や施肥管理など、環境制御技術を導入することにより日持ちの良い高品質な花き生産を実現している。圃場管理では、大輪系品種と、小型系品種によりフラワーネットを使い分けており、各品種に適した栽培方法にすることで、品質向上・出荷率の向上に努めている。また、摘蕾の徹底により、ブラスチング（蕾の状態で枯死）を回避し、開花揃いの向上や花のボリュームアップを図っている。

出荷・販売面では、トルコギキョウについては、約8割について契約販売するなど有利販売に繋げている。商談会や展示会などに積極的に参加をしてPRを行うとともに需要者のニーズをとらえることで、商品性の高い切花生産に努めている。また、種苗会社や生産者との情報交換や交流により、品種動向や特性を把握し、試作圃場を設置して新たな品目、品種の選定や新品種の導入検討の材料としている。また、新たな販路として、市場を通じてアメリカ、台湾などに輸出をしている。

労働軽減については、ハウス管理の省力化に努めており、自動換気システム、養液土耕システム、内張カーテン等を導入している。

環境保全や省エネルギーについては、防虫ネット及び防蛾灯の設置により害虫被害の軽減を図るとともに、粘着トラップによる害虫発生の初期把握と補殺を行っている。ヒートポンプ、循環扇、点滴灌水、マルチ栽培、通路へのケイントップマルチ（有機土壌改良剤）により、ハウス内の湿度を抑え、灰色かび病等が発生しにくい環境を整え、減農薬に努めている。

地域貢献としては、農業大学校生や農業高校生の研修を数多く受け入れ、地域の新規生産者に積極的に指導を行い、次世代の花き農業の担い手育成に大きく貢献している。



左 栗林 亜紀子 氏 右 栗林 健一 氏



ハウス外観



トルコギキョウ栽培管理の様子



ハウス内 (トルコギキョウ) 圃場の様子



ハウス内 (ストック) 圃場の様子

【農林水産省農産局長賞】

上江洲 実（うえず みのる） 沖縄県島尻郡久米島町
切花 （キク）

上江洲実氏は、高校卒業後、9年間務めた消防職員を退職し、野菜栽培に従事した後、平成2年から花き生産を開始し、高品質な輪ギクの切花生産を行っている。

生産・栽培面では、久米島町は、沖縄本島の西側に位置し、台風被害も多く停電による被害も多いことから、平張施設の導入や、平成元年には、LED電球を導入し、家庭用の小型発電機による自家発電設備を整え、台風対策を行った。また、湧き水の豊富な地域で、農業用水も完備されていることから、電磁弁を利用しタイマーで自動灌水を行っている。定期的に灌水ができることから、冬場の乾燥対策や害虫などの防除対策にもなっている。土づくりについては、全圃場から土を採取し、定期的に土壌検査を行い、土壌改善を毎年行っている。現在も、「いい品質は、土づくりから」を信条として、過去20年の土壌分析結果データを活用している。これまでの土壌物理性、化学性に基づいた対策に加え、土壌生理性（夏の太陽熱利用＋微生物資材（バチルス菌）を用いた太陽熱消毒）の技術向上を図っている。

出荷・販売面については、平成3年度久米島町の事業による温度管理できるリーファークォンテナの導入と鮮度保持資材の利用で、花き品質の維持が可能になった。

労働環境においては、自動選別ロボット（花ロボ）を導入し、選別を機械化することによって選別・結束作業の省力化と効率化を図り、品質管理に向上を図っている。また、冬春期の収穫作型に特化したことで、畑づくりや肥培管理の時間を増やすことで、高品質化につながっている。

地域活動については、平成元年には、支部長として尽力し、災害時の陣頭指揮を執るなど、組合での大きな役割を果たした。視察研修にも積極的に参加し、他産地の生産状況・市場動向など最新の栽培技術を学び、地域への情報提供・花き栽培技術の向上に尽力している。また、大菊を中心とした産地形成の取り組みにも積極的にリーダーシップを発揮し、平成21年には、沖縄県から大菊・小菊の拠点産地認定を受けている。上江洲氏は、地域の担い手育成にも力を入れている他、各地からの視察も積極的に受け入れて、自身のこれまでの経験や生産技術を若手生産者などに指導している。また、農業後継者育成の面からも、外国人技術実習生を常時雇用し、地域の模範となる高品質で、安定生産、出荷できる生産に取り組んでいる。



右：上江洲 実 氏、左：妻 上江洲 里美氏 と外国人研修生の皆さん



キクの圃場内の様子



苗床に挿し芽をしている、外国人研修生

(参考資料1)

花の国づくり共励会 花き技術・経営コンクール受賞者一覧

回(年度)	受賞区分	都道府県	受賞者名	生産品目	備考
34回(令和6年度)	農林水産大臣賞	群馬県	佐藤 勲	パンジー・ビオラ、カリブラコア、ニチニチソウ(苗物)	
34回(令和6年度)	農林水産大臣賞	福岡県	杉本 佑貴 杉本 かおり	観葉植物(鉢物)、切葉	
34回(令和6年度)	農産局長賞	岩手県	新岩手農業協同組合南部地域花卉生産部会	リンドウ・ユリ等(切花)	
34回(令和6年度)	農産局長賞	愛知県	あいち海部農業協同組合 早尾紅蓮組合	花ハス(切花)	
34回(令和6年度)	農産局長賞	長崎県	栗林 健一 栗林 亜紀子	トルコギキョウ、ストック、アスター等(切花)	
34回(令和6年度)	農産局長賞	沖縄県	上江洲 実	キク(切花)	
33回(令和5年度)	農林水産大臣賞	神奈川県	窪田 敬一 窪田 鈴江	ガーデンシクラメン、自根夏野菜苗、野菜接木苗、マリーゴールド、パンジー・ビオラ、ナスタチウム、プリムラ類、ニューギニアインパチェンス、グリーンネックレス、オステオスペルマムなど(鉢物)	
33回(令和5年度)	農林水産大臣賞	愛知県	山田 裕也	スプレーギク(切花)	
33回(令和5年度)	農産局長賞	佐賀県	山口 豊喜	カーネーション(切花)	
33回(令和5年度)	農産局長賞	長崎県	吉村 晴喜 吉村 節子	アステルベ、センニチコウ(切花)	
32回(令和4年度)	農林水産大臣賞	千葉県	三井 清和(三和園) 三井 てるみ	カーネーション(切り花)	
32回(令和4年度)	農林水産大臣賞	愛知県	岩瀬 全安(有限会社三洋園芸)	ハーブ苗:ローズマリー、ミント、バジルなど(苗物)	
32回(令和4年度)	農産局長賞	栃木県	吉原 一成(株式会社イッセイ花園)	シクラメン、マーガレット、ペラルゴニューム、カリブラコア、ハイドランジア、ジャズスプリタニア、アングロニア、アスターなど(鉢物)	
32回(令和4年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	米本 順二 米本 道子	露地花き パンジー・ビオラ、ハボタン(苗物・切花) 施設花き アルメリア、ランタナ、ポーチュカ、ポインセチア、長崎ラベンダー、マンデビラ、チョコレートコスモス、ハイビスカス、ネメシア、マリーゴールドなど(鉢物・苗物)	
31回(令和3年度)	農林水産大臣賞	愛知県	渡辺 宏修(半助園芸) 渡辺 律子	アジサイ、ポットマム、コデマリ、ポリゴナム、アカシア、ユーカリ(花木・鉢物)	
31回(令和3年度)	農産局長賞	岩手県	花巻農協 西和賀花卉生産組合 (代表者名 高橋 文昭)	リンドウ(切り花)	
31回(令和3年度)	農産局長賞	長崎県	後田 豊喜 後田 みどり	カーネーション、ラナンキュラス、トルコギキョウ(切り花)	
31回(令和3年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	千葉県	岡本 成生	シクラメン、カーネーション、サイネリア、インパチェンス、ピンカ、パンジー、ビオラ(鉢物)	
31回(令和3年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	佐賀県	山口 庄次 山口 智美	キク(切り花)	
30回(令和2年度)	農林水産大臣賞	群馬県	今井 善園	バラ(切り花)	
30回(令和2年度)	生産局長賞	愛知県	森田 広幸(有限会社バラ屋 代表取締役)	ミニバラ、ベリイ類、ヒイラギ、ハツユキカズラ(鉢物)	
30回(令和2年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	上野 周二 上野 登美子	キク(切り花)	
30回(令和2年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	熊本県	宇藤 康博 (有限会社ウトウファーム 代表取締役)	オリエンタルユリ、スターチス、ストック(切り花)	
29回(令和元年度)	農林水産大臣賞	埼玉県	山下 徳弥	パンジー、ビオラ、ポットマム、ベチュニア、ニチニチソウ、カリブラコア、ラベンダー、ダイアンサス、ハボタン、チュウリップ等(苗物・鉢物)	第59回農林水産祭 天皇杯受賞
29回(令和元年度)	生産局長賞	岐阜県	古川 正敏	ミニバラ、ハボタン、多肉植物、松盆栽、等(苗物・鉢物)、ハーバリウム	
29回(令和元年度)	生産局長賞	愛知県	西三河農業協同組合デルフィニューム部会 (代表者名)	シネンシス系デルフィニューム(切り花)	
29回(令和元年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	本多 博樹 本多 洋子	キク(切り花)	
28回(30年度)	農林水産大臣賞	愛知県	高橋 成治	セダム、エケベリア等300種、グリーンネックレス	
28回(30年度)	生産局長賞	埼玉県	清水 秀一	ヘデラ、キヅタ、テイカカズラ等、緑化ユニット	
28回(30年度)	生産局長賞	大阪府	JA大阪泉州花卉生産出荷部会 (代表者名 奥 安則)	アイリス、グラジオラス、リアトリス、ユリ、ケイトウ、フリージア	
28回(30年度)	生産局長賞	福岡県	南里 優 南里 美紀	コショウラン	
28回(30年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	佐賀県	武富 政敏	トルコギキョウ、スイートピー、シンテッポウユリ	
28回(30年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	開田 浩幸 開田 陽子	カーネーション、コギク、ハボタン	
27回(29年度)	農林水産大臣賞	岐阜県	戸崎 明	ユリオブスデージー、フランネルフラワー、ジャズミン、ブルーデージー、スノーサンゴ、ノボタン(鉢物)	
27回(29年度)	農林水産大臣賞	愛知県	藤目 方敏	キク、スプレーギク(切り花)	
27回(29年度)	生産局長賞	栃木県	角田 盛一	スイートピー、ヒマワリ、ユーカリ等(切り花)	
27回(29年度)	生産局長賞	埼玉県	須永 健司 須永 菜穂美	ガザニア、オステオスペルマム、ブルーデージー、ゴールドコイン、ブラキカム、マーガレット、オキザリス、パンジー・ビオラ、マリーゴールド、ニチニチソウ、ベチュニア、アレナリア等(鉢物・苗)	
27回(29年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	佐賀県	徳永 憲昭	コショウラン(鉢物・苗)	
27回(29年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎県	森 敏朗 森 千佳子	キク(切り花)	

26回(28年度)	農林水産大臣賞	愛知	曾田 義則	サボテン類、アロエ、エケベリア、カランコエ、クラッスラ、セダム、ハオルチア、ユーフォルビア等(鉢物)	
26回(28年度)	農林水産大臣賞	福岡	坂本 和盛	シクラメン、アジサイ、バラ(鉢物)	
26回(28年度)	生産局長賞	埼玉	篠 太一	ポインセチア、マリーゴールド、インパチェンス、ノースポール(鉢物・苗木)	
26回(28年度)	生産局長賞	岐阜	白木 裕人	ヤブコウジ、ブルーベリー等(鉢物・苗木)	
26回(28年度)	生産局長賞	熊本	五箇塾(塾長 中川圭太)	オンシジウム、ファレノプシス、エビデンドラム、デンファレ等(切り花・鉢物)	
26回(28年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎	丸田 浩行	キク(切り花)	
25回(27年度)	農林水産大臣賞	埼玉	萩原 幸一	ケイトウ、ポインセチア、プリムラ、アップルゴーヤ、縄文ネギ(鉢物・花壇苗)	
25回(27年度)	農林水産大臣賞	愛知	近藤 晴義	ガーデンバラ苗、ミニツルバラ(鉢物・花苗)	
25回(27年度)	生産局長賞	福島	佐藤 幸一 佐藤 朝子	シクラメン、アジサイ、ユリ、チューリップ、カーネーション(鉢物)	
25回(27年度)	生産局長賞	佐賀	平田 憲市郎 平田 志緒梨	カーネーション(切り花)	
25回(27年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	岩手	岩手ふるさと農協園芸部会りんどう専門部 (代表者 鈴木 喜一)	リンドウ(切り花)	
25回(27年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	広島	有田 隆則	ハンジュー、ビオラ、マリーゴールド、ペチュニア、ニチニチソウ(花壇苗)	
25回(27年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	長崎	お花屋さん百花園有限会社 代表 渡邊 徳昭	キク(切り花)	
24回(26年度)	農林水産大臣賞	岩手	新岩手農業協同組合 八幡平花卉生産部会 (代表者 高村敏彦)	リンドウ(切り花・鉢物)	第54回農林水産祭 天皇杯受賞
24回(26年度)	農林水産大臣賞	埼玉	朝見 良治	ガーデンシクラメン、ポットカーネーション、イペリス、ラナンキュラス、ペラルゴニウム、ポインセチア、ニチニチソウ、クロサンドラ、カラー、プリムラ等(鉢物・苗木)	
24回(26年度)	生産局長賞	愛知	梶 孝光	コギク(切り花)	
24回(26年度)	生産局長賞	福岡	豊田 武 豊田 千代子	キク、トルコギキョウ、アスター等(切り花)	
24回(26年度)	生産局長賞	長崎	前田 耕一 前田 綾子	シキミ等(切葉)	
24回(26年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	岐阜	島部 勝昌	エラチオールペゴニア(鉢物)	
23回(25年度)	農林水産大臣賞	山形	大築 義雅 大築 実千代	ミニシクラメン、カーネーション、ハボタン、その他花苗(鉢物・苗木)	
23回(25年度)	農林水産大臣賞	埼玉	フカヤスリーエフクラブ (代表者 関和勝宏)	ユリ(切り花)	
23回(25年度)	生産局長賞	岩手	坂戸 明夫 坂戸 チヨ	リンドウ(切り花)	
23回(25年度)	生産局長賞	愛知	荒木 祥充	アンズリウム、フィロデンドロン、アナナス類、カラテア、ヘリコニア、シダ類等(鉢物)	
23回(25年度)	生産局長賞	長崎	吉塚 正弘 吉塚 友子	カーネーション、ガーベラ(切り花)	
23回(25年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	岐阜	高橋 明利	ガーベラ(切り花)	
23回(25年度)	(一財)日本花普及センター会長賞	福井	JAテラル越前キク部会 (代表者 三浦慶昭)	コギク、リンギク(切り花)	
22回(24年度)	農林水産大臣賞	福島	有限会社矢祭園芸 代表金澤 善浩	カーネーション、シクラメン、シュウメイギク、プリムラポリアンサ、プリムラマロコイデス等(鉢物・苗木)	
22回(24年度)	農林水産大臣賞	愛知	株式会社豊楽園 (取締役会長 斎藤豊治) (代表取締役社長 斎藤健治)	フィロデンドロン、フィットニア、ブミラ、ワイヤーブランツ、シンゴニウム、ペペロミア等(鉢物)	
22回(24年度)	生産局長賞	福岡	花田 哲治 花田 泰子	バラ、ユリ(切り花)	
22回(24年度)	生産局長賞	沖縄	新垣 進	コギク(切り花)	
22回(24年度)	生産局長賞	石川	金沢市砂丘地集出荷場 フラワー部会	ストック、切り花ハボタン、フリージア(切り花)	
22回(24年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	坂井 浩一郎	キク(切り花)	
22回(24年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	いわい東農業協同組合 花き部会小菊専門部	コギク(切り花)	
21回(23年度)	農林水産大臣賞	佐賀	小柳 誠五 小柳 一枝	ユリ(切り花)	
21回(23年度)	生産局長賞	神奈川	有限会社五領ヶ台ガーデン (代表取締役 窪田敬一)	シクラメン、ニューギニアインパチェンス、ナスタチューム、プリムラジュリアン等(鉢物)	
21回(23年度)	生産局長賞	愛知	稲垣 長太郎	カーネーション(切り花)	
21回(23年度)	生産局長賞	長崎	有限会社金原園芸 (代表取締役 金原由紀男)	キク(切り花)	
21回(23年度)	生産局長賞	熊本	坂崎 改輝 坂崎 久子	シュクコンカスミソウ(切り花)	
21回(23年度)	(財)日本花普及センター会長賞	埼玉	吉澤 明弘	シクラメン、ハイビスカス、オステオスペルマム、ビオラ、クリサンセマム等(鉢物)	
21回(23年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	牛島 博文	ガーベラ(切り花)	
21回(23年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	JAひだ花卉出荷組合 菊部会 (代表者 野谷智樹)	キク(切り花)	

20回(22年度)	農林水産大臣賞	埼玉	有限会社横川花園 代表取締役横川保次	ユリ、チューリップ、ギボウシ等(鉢物)	
20回(22年度)	生産局長賞	岐阜	河合 修	アルストロメリア(切り花)	
20回(22年度)	生産局長賞	福岡	安田 克徳 安田 節子	サカキ、花桃、ニューサイラン、しめ縄、門松、松竹梅等(花木・枝物類)	
20回(22年度)	生産局長賞	長崎	山口 政則 山口 和代	カーネーション(切り花)	
20回(22年度)	(財)日本花普及センター会長賞	愛知	伊藤 正規	シンビジウム、コチョウラン、ミルトニア(鉢物洋らん類)	
19回(21年度)	農林水産大臣賞	埼玉	塩原 茂夫	アジサイ、ポインセチア(鉢物)	
19回(21年度)	農林水産大臣賞	大分	有限会社お花屋さんぶんご清川 代表取締役社長 小久保恭一	リングク(切り花)	第49回農林水産祭 天皇杯受賞
19回(21年度)	生産局長賞	宮城	石巻農業協同組合 花卉部会ガーベラ班	ガーベラ(切り花)	
19回(21年度)	生産局長賞	愛知	榎田 倉司	リングク(切り花)	
19回(21年度)	生産局長賞	大阪	梶本 定敏	ユリ、アイリス等(球根切り花)	
18回(20年度)	農林水産大臣賞	愛知	小松 英雄	アンズルーム(鉢物)	
18回(20年度)	農林水産大臣賞	福岡	浜野 重登 浜野 明美	バラ(切り花)	
18回(20年度)	生産局長賞	埼玉	安藤 貢	アガパンサス等(苗物)	
18回(20年度)	生産局長賞	岐阜	有限会社サンコフ	セントポーリア等(鉢物)	
18回(20年度)	生産局長賞	大阪	福治 義彦	シャクヤク等(露地花き)	
18回(20年度)	生産局長賞	長崎	柴田 定實 柴田 富子	キク(切り花)	
18回(20年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	石井 克明	バラ(切り花)	
17回(19年度)	農林水産大臣賞	埼玉	黒白 秀之	コチョウラン(鉢物)	
17回(19年度)	農林水産大臣賞	岐阜	吉田 正博	ガーベラ等(鉢物)	
17回(19年度)	生産局長賞	千葉	平野 圭祐	アンズルーム(切り花)	
17回(19年度)	生産局長賞	神奈川	加藤 悟	シンビジウム(鉢物)	
17回(19年度)	生産局長賞	愛知	平野 和美 平野 照美	ポインセチア等(鉢物)	
17回(19年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	石橋 正基	カーネーション(切り花)	
16回(18年度)	農林水産大臣賞	千葉	丸朝園芸農業協同組合 花卉部 (部長)飯高 重雄	サンダーソニア等(切り花)	
16回(18年度)	農林水産大臣賞	福岡	空閑 善実 空閑 桂子	パンジー等(苗物)	
16回(18年度)	生産局長賞	鹿児島	サンライズグリーンヒル 観葉生産組合 (代表者 福留 健一)	オーガスタ等(観葉植物)	
16回(18年度)	生産局長賞	愛知	伊藤 勝久	シクラメン等(鉢物)	
16回(18年度)	生産局長賞	長崎	立石 俊一	バラ(切り花)	
16回(18年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	澤瀬 一男 澤瀬 ロンタ	コギク等(切り花)	
16回(18年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大阪	樋口 喜善	パンジー等(苗物)	
16回(18年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	真子 徳幸	キク(切り花)	
15回(17年度)	農林水産大臣賞	埼玉	田島 嶽	ガーデンシクラメン(苗物)	
15回(17年度)	生産局長賞	群馬	小倉 文雄	シクラメン等(鉢物)	
15回(17年度)	生産局長賞	愛知	内藤 完次	バラ(切り花)	
15回(17年度)	生産局長賞	長崎	JA香崎市花き部会 (代表者)下條利一	コギク等(切り花)	
15回(17年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	高木 兼雄	スパティヒラム(鉢物)	
15回(17年度)	(財)日本花普及センター会長賞	沖縄	玉城 昌伸	キク(切り花)	
15回(17年度)	(財)日本花普及センター会長賞	沖縄	蔵下 良彦	キク(切り花)	
14回(16年度)	農林水産大臣賞	東京	八丈島農業振興青年研究会 鉢物部会 (代表者)大沢猛邦	フェニックス等(鉢物)	
14回(16年度)	農林水産大臣賞	岐阜	株式会社西垣園芸 西垣 正俊	オステオスペルマム(苗物)	
14回(16年度)	生産局長賞	宮城	株式会社ハニーローズなんごう (代表者)榎山 恒雄	バラ(切り花)	
14回(16年度)	生産局長賞	愛知	株式会社H&Lプランテーション 鶴飼 敏之 鶴飼 浩	パンジー等(苗物)	
14回(16年度)	生産局長賞	福岡	高橋 三千年 高橋 節子	バラ(切り花)	
14回(16年度)	生産局長賞	鹿児島	小村 幸一	パキラ等(観葉植物)	

14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大阪	神藤 正和	ハボタン等(苗物)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大阪	谷崎 隆雄	ハナモモ等(切り枝花木)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	徳島	尾崎 進一郎	シンビジウム(鉢物)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	松永 宏隆	ユリ(切り花)	
14回(16年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	JA東長崎菊部会 (代表者)松尾 修一	キク(切り花)	
13回(15年度)	農林水産大臣賞	徳島	有限会社岸本農園 岸本 昇 岸本ときこ	ハイビスカス等(鉢物)	
13回(15年度)	農林水産大臣賞	鹿児島	有限会社南原農園 南原 武博	ジャズミン等(切り花)	
13回(15年度)	生産局長賞	岐阜	有限会社白木園芸 白木 和彦 白木ふさ子	レッドロビン等 (洋蘭・観葉植物)	
13回(15年度)	生産局長賞	佐賀	宮崎 憲治	スイビー等(切り花)	
13回(15年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	JAひだ花卉出荷組合 益田支部 (代表者)中川 剛	キク等(切り花)	
13回(15年度)	(財)日本花普及センター会長賞	愛知	山田 則明	カーネーション等(切り花)	
13回(15年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	緒方 久幸	ガーベラ(切り花)く	
13回(15年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	西海菊出荷組合 (代表者)川内 通良	キク(切り花)	
12回(14年度)	農林水産大臣賞	愛知	石井 義明	アルストロメリア(切り花)	第42回農林水産祭 内閣総理大臣賞受賞
12回(14年度)	生産局長賞	埼玉	成澤 勝司	マリーゴールド(苗物)	
12回(14年度)	生産局長賞	鹿児島	柴崎 喜好	アイビー等(切り花)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	石川 正樹 石川 結花	ユリ(切り花)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	川端 芳彦 川端 葉子	ユリ等(切り花)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	香川	福田 良弘	コチョウラン(鉢物)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	香川	小西 幸彦	マツ(盆栽)	
12回(14年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	徳永 健史	コチョウラン(切り花・鉢物)	
11回(13年度)	農林水産大臣賞	埼玉	小林 滋幸	カラコエ((鉢物)	
11回(13年度)	農林水産大臣賞	長崎	JA北高電照菊研究会 (代表者)大谷 虎次	キク(切り花)	
11回(13年度)	生産局長賞	埼玉	田中 勲	シクラメン等(鉢物)	
11回(13年度)	生産局長賞	岐阜	河野 鉄博 河野 常子	ランキョラス等(切り花)	
11回(13年度)	生産局長賞	愛知	林 富造 林 房子	シンビジウム(鉢物)	
11回(13年度)	生産局長賞	佐賀	菖蒲 正行	トルコギキョウ等(切り花)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	中辻 栄治	キク(切り花)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	広島	石田 律恵	レースフラワー等(切り花)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	徳島	阿部 雅志	シンビジウム(鉢物)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	香川	森 崇	バラ(切り花)	
11回(13年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	高辻 義邦	ユリ等(切り花)	
10回(12年度)	農林水産大臣賞	岐阜	大西 隆	ミニバラ(鉢物)	第40回農林水産祭 天皇杯受賞
10回(12年度)	農林水産大臣賞	鹿児島	沖永良部花き流通センター (代表者)泉 貞吉	テッポユリ等(切り花)	
10回(12年度)	生産局長賞	群馬	林 康夫	シクラメン等(鉢物)	
10回(12年度)	生産局長賞	香川	農事組合法人香花園 (代表者)保坂重雄	カーネーション(切り花)	
10回(12年度)	生産局長賞	大分	有限会社メルヘンローズ (代表者)小畑和敏	バラ(切り花)	
10回(12年度)	生産局長賞	沖縄	玉城 哲弘	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	谷藤 幸子	リンドウ等(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	山梨	農事組合法人 白根フラワーコーポラティブ	インパチェンス等(鉢物)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	愛知	伊奈 義就	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	徳島	宮脇 孝	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	香川	藤本 傳夫	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	中園 英治	キク(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	江頭 富春	カーネーション等(切り花)	
10回(12年度)	(財)日本花普及センター会長賞	鹿児島	富田 良成	バラ(切り花)	

9回(11年度)	農林水産大臣賞	埼玉	奥富 良雄	チューリップ等(苗物)	
9回(11年度)	農林水産大臣賞	愛知	角田 隆幸	ハボタン等(苗物)	第39回農林水産祭 内閣総理大臣賞受賞
9回(11年度)	農産園芸局長賞	宮城	宮城県南三陸農業協同組合 花き部会	キク(切り花)	
9回(11年度)	農産園芸局長賞	山梨	渡辺 喜市	サンダーソニア等(切り花)	
9回(11年度)	農産園芸局長賞	滋賀	小杉 長男	シクラメン等(鉢物)	
9回(11年度)	農産園芸局長賞	沖縄	大城 清利	キク(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	菅原 武男	リンドウ(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	栃木	田代 正行	カーネーション(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	埼玉	木村 実	バラ(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長野	中村 元夫	ディフィニウム等(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	吉川 公彦	キク等(花苗)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	徳島	朝海 常祐	キク(切り花)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	高尾 保徳	ゴールドクレスト等(花木)	
9回(11年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	小嶺 敏博	コウチョウラン等(鉢物)	
8回(10年度)	農林水産大臣賞	岐阜	間宮 敏昭	ハイビスカス等(鉢物)	
8回(10年度)	農林水産大臣賞	福岡	井上 茂之	トルコギキョウ等(切り花)	
8回(10年度)	農産園芸局長賞	埼玉	戸谷 武雄	シュツコンアスター(切り花)	
8回(10年度)	農産園芸局長賞	静岡	服部 一夫	クルクマ等(鉢物)	
8回(10年度)	農産園芸局長賞	京都	清水 幸雄	ケンガイキク(鉢物)	
8回(10年度)	農産園芸局長賞	長崎	鹿山 雅勝	カーネーション等(切り花)	
8回(10年度)	(財)日本花普及センター会長賞	新潟	渡邊 和芳	ユリ(切り花)	
8回(10年度)	(財)日本花普及センター会長賞	三重	松尾 廣文	シクラメン等(鉢物)	
8回(10年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	吉本 利郎	バラ(切り花)	
7回(9年度)	農林水産大臣賞	宮城	平間 久義	ハーブ等(苗物)	
7回(9年度)	農林水産大臣賞	静岡	とびあ浜松農業協同組合 PCガーベラ販売部会	ガーベラ(切り花)	第37回農林水産祭 天皇杯受賞
7回(9年度)	農産園芸局長賞	青森	竹ノ原幸悦	カーネーション等(切り花)	
7回(9年度)	農産園芸局長賞	埼玉	立石 勝義	ポインセチア等(鉢物)	
7回(9年度)	農産園芸局長賞	福岡	南嶋精二郎	ペゴニア等(苗物)	
7回(9年度)	農産園芸局長賞	長崎	本田 敏秀	カーネーション等(切り花)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	フローラぎふOKI	カラコエ(鉢物)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	月本 雅治	バラ(切り花)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	兵庫	中岡 邦康	カーネーション(切り花)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大分	市川 一清	スイートピー等(切り花)	
7回(9年度)	(財)日本花普及センター会長賞	沖縄	渡久山 稔	キク(切り花)	
6回(8年度)	農林水産大臣賞	栃木	菱沼 軍次	シクラメン等(鉢物)	
6回(8年度)	農林水産大臣賞	静岡	大庭 孝史	パキラ等(観葉植物)	
6回(8年度)	農産園芸局長賞	埼玉	新 博之	カラコエ等(鉢物)	
6回(8年度)	農産園芸局長賞	京都	寺内 一郎	パンジー等(苗物)	
6回(8年度)	農産園芸局長賞	福岡	大隈 博幸	バラ等(切り花)	
6回(8年度)	農産園芸局長賞	沖縄	外間 勝義	キク等(切り花)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	宮城	斎藤 達義	シクラメン等(鉢物)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	群馬	小嶋 宏	バラ(切り花)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	安保 幹太	シンビジウム等(鉢物)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	堀田 泰規	プリムラ等(苗物)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	高知	広岡 稔	アイリス等(切り花)	
6回(8年度)	(財)日本花普及センター会長賞	高知	小池 龍善	キク等(切り花)	

5回(7年度)	農林水産大臣賞	岐阜	福田 誠	セントポーリア等(苗物)
5回(7年度)	農林水産大臣賞	福岡	波佐間 廣美	ディフェバキア等(観葉植物)
5回(7年度)	農産園芸局長賞	群馬	萩原 久雄	シクラメン等(鉢物)
5回(7年度)	農産園芸局長賞	埼玉	千野 純一	インパチェンス等(鉢物)
5回(7年度)	農産園芸局長賞	大分	飯田花き生産組合 (代表)時松 謙	バラ等(切り花)
5回(7年度)	農産園芸局長賞	沖縄	宮平 憲勇	キク(切り花)
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	宮城	手島 徹	シクラメン等(鉢物)
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長野	金本 達夫	バラ(切り花)
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	矢野 伸太郎	ストック(切り花)
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	多田 護	ベニカナメモチ(植木)
5回(7年度)	(財)日本花普及センター会長賞	佐賀	水田 義雄	キク(切り花)
4回(6年度)	農林水産大臣賞	宮城	渡辺 俊	シクラメン等(鉢物)
4回(6年度)	農林水産大臣賞	埼玉	金子 正	カラジューム等(鉢物)
4回(6年度)	農産園芸局長賞	群馬	中山 忠義	洋ラン(切り花・鉢物)
4回(6年度)	農産園芸局長賞	福岡	和佐野 喜代太	コチョウラン等(鉢物)
4回(6年度)	農産園芸局長賞	佐賀	中江 広域	キク(切り花)
4回(6年度)	農産園芸局長賞	大分	志賀 智貴	ユリ(切り花)
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岩手	木村 勇一	ブラグ苗等(苗物)
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞	岐阜	林 一郎	ポインセチア等(鉢物)
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	明崎 勝治	ダリア等(切り花・球根生産)
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長崎	町田 一弘	スイトビー等(切り花)
4回(6年度)	(財)日本花普及センター会長賞	鹿児島	利田 正明	カーネーション等(切り花)
3回(5年度)	農林水産大臣賞	茨城	鈴木 隆	ホウズキ等(鉢物)
3回(5年度)	農林水産大臣賞	沖縄	亀谷 英雄	キク等(切り花)
3回(5年度)	農産園芸局長賞	秋田	三浦 康之	トルコギキョウ等(切り花)
3回(5年度)	農産園芸局長賞	群馬	小内 敬一	アジサイ等(鉢物)
3回(5年度)	農産園芸局長賞	埼玉	矢作 文夫	カトレア等(鉢物)
3回(5年度)	農産園芸局長賞	高知	山崎 廣美	ユリ等(切り花)
3回(5年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	森島 衛樹	ハナショウブ等(切り花)
3回(5年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	吉川 喜一	シクラメン等(鉢物)
3回(5年度)	(財)日本花普及センター会長賞	広島	沖野 高人	(花木)
3回(5年度)	(財)日本花普及センター会長賞	福岡	田代 恒夫	バラ等(切り花)
2回(4年度)	農林水産大臣賞	栃木	渡辺 武雄	コチョウラン等(鉢物)
2回(4年度)	農林水産大臣賞	静岡	渡辺 偉	クレマチス等(苗物)
2回(4年度)	農産園芸局長賞	岩手	畠山 正徳	リンドウ等(切り花)
2回(4年度)	農産園芸局長賞	群馬	大沢 憲一	バラ(切り花)
2回(4年度)	農産園芸局長賞	東京	浅沼 一治	フェニックス等(鉢物)
2回(4年度)	農産園芸局長賞	福岡	和佐野勝次	リンドウ等(切り花)
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	埼玉	町田 静吾	バラ(切り花)
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	長野	竹内 栄一	バラ(切り花)
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	今村 喜和	キク等(切り花)
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	奈良	吉村 隆明	インパチェンス等(鉢物)
2回(4年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大分	藤原 博文	キク(切り花)
1回(3年度)	農林水産大臣賞	岩手	猿子 恵久	アルストロメリア等(切り花)
1回(3年度)	農林水産大臣賞	埼玉	本多 忠夫	シクラメン等(鉢物)
1回(3年度)	農産園芸局長賞	栃木	菱沼 軍次	シクラメン等(鉢物)
1回(3年度)	農産園芸局長賞	群馬	坂本 正次	アジサイ等(鉢物)
1回(3年度)	農産園芸局長賞	長野	筒井 基博	シクラメン等(鉢物)
1回(3年度)	農産園芸局長賞	岐阜	河本 弘元	バラ(切り花)
1回(3年度)	(財)日本花普及センター会長賞	静岡	岩倉 廣治	(観葉植物)
1回(3年度)	(財)日本花普及センター会長賞	京都	完岡 義清	カキツバタ(切り花)
1回(3年度)	(財)日本花普及センター会長賞	広島	中本 博文	ハボタン等(苗物)
1回(3年度)	(財)日本花普及センター会長賞	大分	時松 謙	バラ等(切り花)

(参考資料2)

第34回花の国づくり共励会 花き技術・経営コンクール実施要領

1. 目的

我が国の園芸の将来を担い、かつ国民生活に潤いと安らぎをもたらすものとして重要な役割を担っている花きについて、生産分野の技術・経営の向上・発展を図ることを目的とする。

2. 開催団体

- (1) 主催 一般財団法人日本花普及センター
- (2) 後援 農林水産省
- (3) 協賛 一般社団法人日本花き生産協会
一般社団法人日本花き卸売市場協会
一般社団法人全国農業改良普及支援協会

3. 出品資格

露地花きにあつては栽培面積が1ha以上、施設花きにあつては栽培面積が50a以上の花き生産を主とする農業者等であつて、技術・経営に優れ、地域社会に支持と共感を得ているものとする。

4. 出品方法

出品は、自薦、他薦を問わず、「花の国づくり共励会－花き技術・経営コンクール応募用紙」に所定の事項を書き込み、それに基づく経営及び活動の記録等の必要な資料を添付して提出する。

5. 審査方法

- (1) 予備審査
一般財団法人日本花普及センターは、自薦、他薦を問わず応募用紙が提出された出品財について、書類審査等により本審査の対象となる出品財を選考する。
- (2) 本審査
付属資料2の審査委員は、付属資料1の審査基準に基づき書類審査、必要に応じて現地調査を実施して、公正な審査を行う。

6. 表彰

- (1) 特に優秀と認められた出品財に対して農林水産大臣賞（2点）、優秀と認められた出品財に対して農産局長賞（4点）、一般財団法人日本花普及センター会長賞（数点）をそれぞれ授与する。

(2) 農林水産大臣賞出品財は、国の定める「農林水産祭表彰要領」に基づき天皇杯等の選賞資格を有する。

(3) 次に掲げる基準のいずれかに該当し、かつ経営主の配偶者の貢献度が高いと認められる場合にあっては、夫婦連名で表彰することができる。

但し、農林水産祭参加行事の農林水産大臣賞並びに農産局長賞に限る。

- ① 家族経営協定を締結していること。
 - ② 推薦書等において経営主の配偶者の作業分担、従事日数等が概ね5割に達していることと確認できること。
 - ③ 農業改良普及センターなどの現場指導組織による意見書が添付されていること。
- なお、推薦の段階で夫婦連名であるものについては、一般財団法人日本花普及センター会長賞についてもこれに準ずる。

7. 事務局

標記コンクールを実施するため、事務局を一般財団法人日本花普及センター内に設置する。

8. 開催日程

- | | |
|------------|--|
| (1) 出品募集期間 | 令和6年7月30日～10月31日 |
| (2) 予備審査 | 令和6年11月上旬 |
| (3) 本審査 | 令和6年12月6日(金) エッサム神田1号館 |
| (4) 現地調査 | 令和6年12月16日(月) 福岡県
令和6年12月26日(木) 群馬県 |
| (5) 受賞者発表 | 令和7年 2月 4日(火) プレスリリース |

※受賞者の発表のみとして表彰式の開催はございません。

(付属資料1)

花き技術・経営コンクール審査基準

- 1 立地条件を活かした合理的、安定的な経営であること
- 2 経営に計画性と展望をもち、近代化、拡大化の方向をたどっていること
- 3 消費動向を的確にとらえ、消費者ニーズに応える経営を行っていること
- 4 栽培技術は、科学的基礎に基づき、その水準が高く優れ、改善意欲が盛んなこと
- 5 生産基盤の整備、資本整備の投資がかなり行われ、その利用効率が高いこと
- 6 土地利用及び労働力利用が合理的であること
- 7 生産性が高く所得が水準以上と認められること
- 8 労働軽減等により、ゆとりある農業を実現していること
- 9 環境保全に対する工夫や配慮が見られること
- 10 国際化対応を考慮した経営がなされていること

(付属資料2)

第34回(令和6年度) 花き技術・経営コンクール審査員名簿

順不同

氏名	所属・役職
腰岡 政二	公益財団法人 日本植物調節剤研究協会 理事
土井 元章	京都大学大学院 名誉教授
河野 恵伸	国立大学法人 福島大学 農学群食農学類農業経営学コース 教授
長村 智司	一般社団法人フラワースサイエティ 会長
岡本 正夫	一般社団法人日本花き生産協会 顧問
長岡 求	株式会社フラワーオークションジャパン 顧問

第34回花の国づくり共励会

花き技術・経営コンクール受賞者の業績概要

令和7年2月発行

編集・発行 一般財団法人日本花普及センター

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-17 山一ビル4階

TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743

e-mail : jfpc@jfpc.or.jp

URL : <http://www.jfpc.or.jp>



いいこと
あった日、
花を買う。

花っていいよね。キャンペーン